（　　）眼の網膜硝子体手術を受けられる（当日入院）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様へ

福井赤十字病院　眼科　眼８

硝子体の病気に対し、局所麻酔で手術を行います

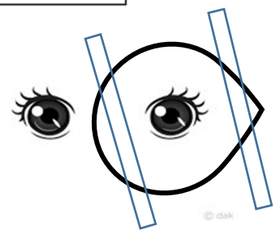
ゴール目標　：　**目の状態に異常がなければ退院になります**

	手術当日		１日目	２日目	３日目	４日目～退院
	手術前	手術後				
月　日	/　（　）　時　分		/	/	/	/
検査 治療	・手術室で点滴をするための針を入れます		・入院中は午前９時頃から回診をします （土曜日は午前９時３０分頃になります） →			・**医師の許可があれば退院できます（午前１０時までにお願いします）**
処置	・手術のために手術予定時間の２時間前から頻回に目薬をさします	・術後から点眼がはじまります 点眼表のとおりに点眼を行います →				
安静度		・手術後３０分はベッド上安静です （ 鎮静剤を使用した場合、２時間はベッド上安静になります） ・安静解除後、トイレ、診察のみ歩行できます **薬の影響で、ふらつくことがあるため気をつけてください**	・ 疲れない程度の読書・テレビを見ることができます			
	目の中に、ガスあるいは、オイルが**入らなかった**患者さん	・制限はありません				
	目の中に、ガスあるいは、オイルが**入った**患者さん	・うつむきの姿勢をとってください ・食事は顔を下に向けた姿勢で摂ってください ・術後に姿勢の指示がでます	・ 指示通りの姿勢をとってください （網膜の弱い部分をガスやオイルの浮力によって固定する為に必要な治療です）			
清潔	・ 入院までに、入浴・洗髪・爪切りを済ませてからお越しください ・ 手術に行く前にうがいを済ませてください		・ **術後２日目までは、顔を拭くだけにしてください** ・ シャワーができます その際に顔は濡れますが、拭くだけにしてください	・洗顔、化粧ができます		
観察	・手術前に行います	・ 手術後、１９時に行います ・ 鎮静剤を使用した場合は、帰室後、３０分後、１時間後、２時間後に行います	・１日１回行います 			
教育指導	・目薬のさし方を看護師が確認します。必要な方には説明します		・薬剤師が薬と目薬について説明します		・看護師が裏面を用いて、退院後の生活について説明します	
その他	・８時３０分入院の方は、入退院支援センター　→　手術室　→　病室　の流れでご案内します ・その他の入院時間の方は、入退院支援センター　→　病室　→　手術室 の流れでご案内します ・入院診療計画書をお渡ししますので、署名の上お出しください ・手術同意書をお出しください ・入院中に必要な分の飲み薬・目薬をお持ちください （特別に中止する薬がある場合はお知らせします） ・手術の直前になりましたらお知らせしますので、うがい・排尿を済ませ、洗濯済みの寝衣に着替えて、スタッフステーションに来てください **手術に行く前にはずすもの** **眼鏡、義歯、指輪、時計、ネックレス、ピアス、かつら、ヘアピン、お守り袋、化粧、マニキュア、コンタクトレンズ、湿布、ベルト、金具つきの下着**	・**寝るときはプラスチックの眼帯をつけます** ・術後しばらく目の赤み、涙、ごろつきを伴うことがありますが、次第に軽快します			
説　明　者						

*状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください　　主治医（　　）看護師（　　）

【退院時指導】

眼帯のとめ方



〇安静について

・退院後１週間は寝るときだけ透明眼帯をつけましょう

３Ｍテープを購入してください

・目にシャンプー、石鹸が入った際は流水でよく洗い、
早めに目薬（モキシフロキサシン）をさしてください

・ 目が疲れない程度なら仕事をしても大丈夫です

・ ほこりっぽい所や、人混みの多い所、明るい所がまぶしく感じる方はサングラスを使用して目の負担を避けてください

・ 軽い運動（散歩など）は退院後から、激しい運動（マラソン、重い物を持つなど）は退院後１～２ヵ月位から始めてください

・退院後１週間後からパーマ、髪を染めることができます

・ 術後１ヵ月位で、軽くなら目をおさえたり、こすったりしても大丈夫になりますが、普通の強さで可能になるには３～６ヶ月位かかります

・ 医師の指示があるまでは、飲酒をしないでください

〇 点眼について

・点眼表のとおり点眼してください・目薬は５分以上間隔をあけてさしてください



〇目の回復について

・ 目の赤み、涙、ごろつきは術後１ヵ月位続くことがありますが、徐々におちついてきます

・ 視力がおちつくまで６ヵ月位かかりますのでその後、医師と相談して自分の目にあった眼鏡を作ってください

〇目の中に、ガスあるいは、オイルが入っている場合

・ ガスは、自然に消失していきます（ガスの種類により２～６週間で消失します）

・ 目の中にガスが残っている間は飛行機の搭乗・新幹線の乗車・全身麻酔下の手術はできません　また、高い山の登山などは控えてください
（ガスが膨張してしまいます　どうしても全身麻酔手術が必要な際は眼科医に相談してください）

・ 注意書きのカードは、緑のバンドをつけている間は携帯してください
指示があるまではバンドは外さないでください

・オイルは、目の状態が落ち着いた６～１２ヵ月位に除去手術を施行します
（約１週間の入院となります）



次回再診日　　月　　日　　曜日　午前　　時　　分

〇退院後の診察について

・自動車・自転車の運転は、次回再診日まで控えてください

・瞳を開く目薬をして検査をすることもありますので時間に余裕をもってお越しください

入院費は、ひと月ごとの【自己負担限度額】＋【食事負担額】＋【その他（個室料、診断書料など】合計です。
自己負担限度額の確認ができない場合は、本人の負担割合（1 割～3 割）での請求となります。
請求に関する問い合わせ先：病棟担当事務